

2 - 3 重点事業評価

事業名

県内図書館等との連携協力の推進

- (1) 指標① 集合研修・訪問研修の参加者満足度（アンケート回答「参考になった」「やや参考になった」の割合）

目標：毎年度90%以上

	達成目標	実績 (達成率)	分析コメント
H30	90%以上	100% (111%)	県立図書館として市町村立図書館等への支援に力を入れており、相手のニーズに配慮した分かりやすい研修に努めた結果、目標を達成できたと考えます。
R1	90%以上	100% (111%)	//
R2	90%以上	100% (111%)	新型コロナウイルス感染症のため、上半期は計画どおりの研修ができなかったが、下半期に充実した研修を実施することで目標を達成した。

指標② 訪問相談実施市町村数

達成目標：3か年で全市町村を訪問

	達成目標	実績 (達成率)	分析コメント
H30	10市町村	13市町村 (130%)	県立図書館の広域サービスの拡充の説明等も兼ねて積極的に訪問したため、目標を上回る達成となった。
R1	10市町村	8市町村 (80%)	年度途中まで計画どおりに推移していたが、年度末に新型コロナウイルス感染症の影響で訪問相談を中止したため、未達成となった。
R2	10市町村 (全市町村訪問) ※9市町村	9市町村 (100%)	感染症対策に配慮しながら訪問相談を実施し、目標を達成した。

「※」は、コロナ禍の影響を踏まえ、目標値を変更

- (2) 令和2年度の具体的取組（概要）

＜指標①＞

新型コロナウイルス感染症が拡大したため、当初予定の集合研修は再調整を余儀なくされたが、6月以降は講師と事前に十分な調整を行い、オンライン研修を実施するなど、感染症防止対策をとりながら開催した。

訪問研修は、市町村職員と事前・事後のアンケートを聴取するなどの調整を行って要望に沿った研修を実施し、満足度を高めるように取り組んだ。

【集合研修】

◎公共図書館新任職員研修会（5月・中止）※資料送付

◎公共図書館中堅職員研修会「図書館のコレクションづくりの考え方・実際」（9月）感染症防止対策をとり実施

◎公共図書館職員専門研修会「伝わるデザインと情報の届け方」（3月）オンラインで実施

【訪問研修】

◎レファレンス 5館 ◎製本・修理 2館

【新規事業】

訪問セミナー（郷土資料をテーマに下半期より開始）2館

<指標②>

訪問相談では、近年訪問実績の少なかった自治体も含め、県内全市町村を訪問することで市町村図書館等の現状を把握し、適切な助言や情報提供を行うことによって、市町村支援の充実を図った。

残り9市町村で3年で全市町村訪問達成となるため、目標の達成に取り組んだ。

◎上半期訪問 1館

◎下半期訪問 8館

◎【新規】訪問セミナー（郷土資料をテーマに下半期より開始）2館

(3) 事業評価（自己評価）

自己評価 (総合評価)	指標①、②ともに目標値を上回り、A評価となった。	<指標①> 上半期はコロナ禍の影響により、集合・訪問とも計画どおりの市町村職員向け研修ができなかったが、下半期は事前の連絡調整を十分にとりつつ、市町村の要望に応じた訪問研修を実施した。集合研修についても、講師と綿密な調整を行い、満足度の高い研修会を開催することにより、目標達成に取り組んだ。 <指標②> 新型コロナウイルス感染症のため、上半期は計画どおりの訪問ができなかった。下半期は感染症に配慮しながら、連絡調整を十分に行いつつ訪問することによって、目標を達成できるよう取り組んだ。 また、新規に郷土資料をテーマにした訪問セミナーを開始した。これらの取組によって、市町村支援事業の更なる充実を図った。
------------------------	---------------------------------	---

AA 目標が十分に達成された。

A 目標が達成された。

B 目標がある程度達成された。 C 目標の達成が十分ではない。

※評価 AA：105%以上 A：100～104% B：95～99% C：94%以下

(4) 3年間の総括

指標①については、ニーズに沿った満足度の高い集合・訪問研修を実施し、県全体の図書館サービスの向上に貢献できた。次年度以降も、市町村図書館等のサービス向上につながる、効果的な研修体制の整備に努める。

指標②については、3年間で全30市町村の現状を把握するとともに、適切な助言や情報提供を行うことができた。今後も、市町村図書館等の支援体制の更なる充実に取り組む。

(5) 図書館協議会意見

- ① 読書バリアフリー法や電子図書館など、県内図書館は共通の課題を抱えている。さまざまな情報提供及び県の姿勢や方針を確認するために、より一層緊密な日常の相談体制の整備や関係構築が必要である。
- ② 令和2年度の集合研修について、5月は中止、9月は感染症予防対策をとって実施されたとのことだが、県立図書館の役割としては、いち早くZoom等でのオンライン（リモート）で実施する必要があったと考える。5月であれば（あるいは日程を少し遅らせる対応でも）オンラインでの実施は可能だったのではないかと。少なくとも県立図書館が迅速に率先して県内市町村図書館等のリモートの態勢を整えていくという、貢献や支援ができたはずであると考えます。
- ③ 訪問研修については、「訪問」の意義はあると思うが、リモートも併用して実施すればよいと考える。
- ④ コロナ感染症の影響で、「資料送付のみ」「感染症予防対策をとっての実施」「オンラインでの実施」と、例年とは異なる状況であったにもかかわらず、参加者満足度は100%と明示され、事業評価（自己評価）にも特に課題は示されていない。昨年度と全く同様の指摘であるが「参加者はどのような点が参考になったと考えているのか、実施した研修内容が実際にどのように活かされているかなどを実績として明らかにしておくことが必要であると考えます」。課題や反省が明らかでなければ、今後の改善も発展もないことを認識する必要がある。たとえば、新任職員研修会が中止となり資料送付のみとなったことについて、県立図書館としては「全く問題が無かった」という自己評価なのかと素朴に疑問である。